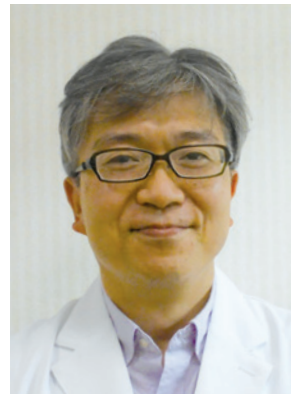


さんよう広場

令和3年4月 第47号

副院長より新年度のご挨拶



新型コロナウイルス感染症が世界に広がって1年以上が経ちました。依然としてこの感染症は終息せずに私たちの生活に影響し続けています。

新型コロナウイルス感染症は感染力が高いとされる変異ウイルスも各地で発見され第4波への懸念が広がっています。はじめて緊急事態宣言が発令されてから約1年も行動制限が続くと、精神的にも肉体的にも限界がやってくることは十分想像できます。それでも多くの方が我慢した生活を送られていると思いますが、中にはこのぐらいだったら大丈夫、自分たちは問題ないと思ってしまうこともあるでしょう。残念ながら私たちが戦っている相手は人間ではなくウイルスですから一時休戦するわけもなく条件さえ揃えば誰にでも分け隔てなく感染します。人との接触をやめれば感染しないことは当たり前のことです。しかし実際は必ず誰かに支えてもらいながら生活しているので現実的には不可能です。

コロナウイルス感染者には重症化する人と無症状のまま完治する人がいます。重症化の直接原因は解明されていませんが、重症化する可能性のある人は基礎疾患（糖尿病、高血圧、肥満、慢性閉塞性肺疾患、心血管疾患等）のある人、そして高齢者と言われています。高齢になるほど免疫機能は低下し、また基礎疾患のある人は慢性的に炎症が潜んでいる状態（免疫機能が正常に働きにくい状態）と考えられます。免疫機能を今よりも良くするためには生活習慣の見直しが大切です。食事療法と運動療法（特に筋肉を増やすことが免疫機能アップと正常化に良いことがわかっています）、それに睡眠と笑うことです。

今では“with コロナ”と言ってコロナと共存する社会を想定しています。これは経済活動を再開せずにはおれない社会情勢があるからです。しかし無防備な共存は感染を蔓延させ多くの方の命に係わります。予防のためのマスクや会食マナーはもちろんですが、新型コロナウイルスと共存するには免疫力を高め重症化させない体づくりが大切になります。急には強靱な肉体は作れません。そこで取り急ぎ免疫を高める方法がワクチン接種になります。まずはワクチンの恩恵を受けて感染しにくい身体を手に入れ、その上で普段の生活スタイルを見直すことがとても重要だと思います。

昨年は、「自然豊かな三木の名所をのんびりと散歩でもしてはいかがでしょうか」と書きましたが、今年は筋肉トレーニングとお笑いを加えてはどうでしょうか。

副院長 藤井 郁三

看護部長より新年度のご挨拶

2020年度は世界中がコロナ禍で、感染対策や計画されていたことが思うように進まなかったりと、新型コロナウイルスに苦しめられた1年でした。現在は変異株による感染が増加傾向にあり、まだ収束には時間がかかりそうでウイズコロナ生活は続くと思われます。これから始まるワクチン接種の効果を期待しています。

当院では、十分な診療が行えない時期があり、患者さま、ご家族さまや地域の方々にはご心配とご迷惑をおかけしてしまいました。今後も気を緩めることなく職員一丸となり、感染防止に充分注意を払って参ります。

4月になり、新しく当院の仲間となった職員を迎えられ嬉しく思っています。新入職者を迎えることは、私たちの気持ちも引き締め、新しい力が当院の医療を支え活躍してもらえることを期待しています。看護部では、社会人1年目を2名迎えています。初心を忘れないようにして、成長していく姿を見守っていきたいと思います。

7月には開院25年を迎え、私も病院と共に健康で歩んでこられたことに感謝しています。

8月には病院機能評価受審が予定されており、理念である「心と技術の調和した、優しく信頼される病院に」を忘れることなく、次に進んでいきたいと思っています。



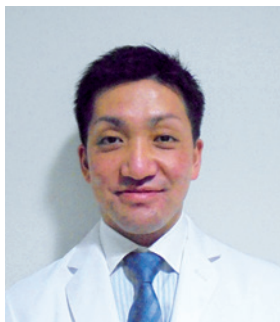
オンライン
会議の
様子です

看護部長

中張 さゆり

新しい医師を紹介します

2021年4月より三木山陽病院整形外科で勤務させていただくことになりました吉川智也と申します。2012年に神戸大学医学部を卒業後、神戸大学整形外科に入局しました。兵庫県内の関連病院にて整形外科全般的に経験を積み、2019年に日本整形外科学会認定専門医を取得しました。2019年より神戸大学大学院医学研究科に進学し、上肢グループに所属し肩・肘・手に関する診療の専門性を高めるとともに、基礎研究を行っております。また、小学生時代から現在も野球を続けている野球好きですが、投球に関する研究や小中学生を対象とした野球肘検診の取り組みにも携わっております。



子どもから高齢者まで多岐にわたる運動器疾患の診療にあたる整形外科医として、地域の皆様に貢献できるように全力を尽くしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

整形外科 吉川 智也

知って得する糖尿病講座とは・・・

当院では患者さまに役立つ情報提供を目的として「知って得する糖尿病講座」を毎月発行しています。少しでも、糖尿病について知ってもらい患者さま自身の療養生活に役立たせてもらうために病態や合併症、食事療法、運動療法、薬物療法、検査、フットケアの記事を載せています。14年継続しており、今年3月で167号まで発行させて頂いています。

リーフレットを第1号からすべてファイルにまとめて、ロビーに設置していましたが、コロナ禍で現在は設置出来ておりません。過去の「知って得する糖尿病講座」は病院ホームページで見ることができます。

またカラー印刷をすることもできます。糖尿病でない方にも興味をもってご覧いただける内容が多く記載されていますので、ぜひご覧ください。



三木山陽病院のユニフォームが新しくなりました！！



令和3年2月より、医師、看護師、ケアワーカー、メディカルクラーク、ORT、OMA、薬剤部、放射線科、リハビリテーション科、臨床検査科、健康診断科、CE科、栄養科、総合支援相談室のユニフォームを一新しました。
来院された際はユニフォームにも注目してみてくださいね。

みきさんようきず
右の桜は院内のどこに
咲いているでしょう？
→正解は次号をご覧ください！



みきさんようきず
1月号答え

- ① 2つ (2階やすらぎの路と屋上なごみの丘)
- ② 1階中庭
- ③ たまねぎ



医局より
お知らせ

内科 佐藤公彦医師と整形外科 高島良典医師が、令和3年3月末日をもちまして、三木山陽病院を退職いたしました。4月からの外来は後任の医師が担当しております。詳しくは裏面の診療担当表をご覧ください。

三木山陽病院 診療担当表

午前診 9:00 ~ 12:00 (月~土曜日)
夜間診 17:00 ~ 20:00 (月・水・金)

内 科		月	火	水	木	金	土
午前診	1 診	岡野裕行	藤井郁三	岡本安生	吉松昭和	高屋 豊	一居武夫
	2 診	長谷川直子	森田須美春	藤井郁三	森田須美春	岡本安生	森田須美春
	3 診	岡本安生	高屋 豊	一居武夫	坂東弘教	長谷川直子	藤井郁三
	4 診	吉松昭和	吉松昭和	長谷川直子	伊東俊夫	伊東俊夫	高島康弘
	5 診	友藤清爾	一居武夫	高屋 豊	田村俊介	田村俊介	田村俊介
	6 診						岡野裕行
	循環器	寺島充康					
夜間診	総合診療科	高屋 豊		高橋 悠		藤井 (第2-4) 岡野 (第1-3-5)	
		吉松昭和		田村 (第1-3-5) 友藤 (第2-4)		一居武夫	
	循環器	寺島充康					

整形外科・リウマチ科		月	火	水	木	金	土
午 前 診		水口龍次	吉川智也 由留部崇	水口龍次	水口龍次	吉川智也	吉川智也
夜 間 診		水口龍次		橋本慎吾		篠原一生	

眼 科		月	火	水	木	金	土
午 前 診		藤井誠一郎	担当医	秋山 診察 藤井 (誠) 手術	藤井誠一郎	藤井誠一郎	担当医
午 後 診		手 術			手 術		

外 科		月	火	水	木	金	土
午 前 診		鷺田昌信	吉川 智	手術	鷺田昌信	手術	吉川 智

皮膚科		月	火	水	木	金	土
午 前 診			牧野 夏 関向亜紀子	せきむかい 関向亜紀子	関向亜紀子	牧野 夏	担当医

泌尿器科		月	火	水	木	金	土
午 前 診				長富俊孝	長富俊孝	長富俊孝	長富俊孝
午 後 診		乃美昌司 (13:40~16:00)					

		月	火	水	木	金	土
胃内視鏡		田村俊介	崔 諭司	崔 諭司	岡野裕行	落合 健	岡本安生
腹部エコー・心エコー		専門技師	専門技師	専門技師	専門技師	専門技師	専門技師
大腸内視鏡		岡野裕行 田村俊介	岡野裕行 崔 諭司	田村俊介 崔 諭司	岡野裕行 田村 (第1-3-5) 増田 (第2-4)	落合 健 岡本安生	

2021/4/5 現在

アクセスMAP



医療法人社団 朋優会

三木山陽病院

〒673-0501

三木市志染町吉田 1213-1

TEL 0794-85-3061

FAX 0794-85-3582

URL <http://www.hoyukai.or.jp>

E-mail info@mikisanyo-hp.com

